

YMCA News 12



『大切な思い出とこれから』



小学一年の時、母の勧めで嫌々スキーキャンプに参加した。当時は早期申込み割引があって、早く申し込まなかったから割引にならずに悔しかったことを覚えている。最初は八の字で止まる練習をした。リフトにも乗れるようになったが、降りるのがすごく怖かった。それでも大きく、くねくね回って坂の一番上から下まで降りれるようになって、最初は拒んでいたスキーが大好きになった。朝の集いや夜の集いで歌うのが好きだった。バイキングは最高に美味しくていつもたくさん食べていた。お風呂では遊んだ。お泊りは少し寂しかったけど楽しかった。私は小学校入学からYMCAの学童に入っていて、友達も一緒だったから、恵まれた楽しい環境にいたのだろうと思う。それから毎年参加した。冬休みイコールスキーキャンプでいつも楽しみにしていた。

六年生には板を平行にするパラレルができるようになって嬉しかった。楽しかった理由は多分、リーダーと友達がいってスキーもある程度できたからだと思う。でも、スキーができて人との繋がりがなかったら楽しくないから、リーダーと友達のお陰でスキーを楽しめたのだと思う。

しろくまやゴリなどのベテランのスタッフからお兄さんやお姉さんまで少し年上のリーダー達は、近くて大きな存在だった。

移動やお風呂など、一人だと面倒なことでもみんなとだと楽しかった。でも思い返してみると、いつも同じ人といった気がするし、新しい友達はできていなかった。同じ場所に留まらずに、勇気を出して話しかけていたら、もっと楽しかったかもしれない。私たち日本人は一人一日ご飯一杯分を毎日捨てているという。輸入品に頼っているのに異常だと思う。

温暖化や貧困、プラスチックなど深刻な問題が山積みの現代、無駄をなくして生に責任を持ち、誰かにとってYのリーダーのような存在になりたい。



盛岡白百合学園高等学校 1年 瀬川都子

盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。



～ジュニアスキーキャンプ～

こんにちは!12月27日(金)～29日(日)で行われる、ジュニアスキーキャンプに参加するレモンです。ジュニアスキーキャンプは、2泊3日のキャンプとなっており、八幡平パノラマスキー場で行います。

スキーキャンプは、スキーが初めての子や今まで滑ったことがあってスキーが得意な子、今よりもっと上達したい子も、みんなが楽しめるようなキャンプです!

初めてのリフトも、リーダーや他の子どもたちと一緒に乗れるようになったり、同じグループの子とたくさん滑って声を掛け合っていくことで、お互いの「できた!」を喜びあいながら、楽しいレッスンが待っています。私たちリーダーも、子どもたちの挑戦と一緒に取り組んで、全力で応援していきます!

もちろんジュニアスキーキャンプは、スキーの他にも夜にはリーダー達が考えた楽しいプログラム、部屋ではグループの子と色々な話をするなど、様々なことをして3日間を過ごします。

はじめましての子がいても、一緒にスキーをして、朝のおはようからおやすみまでの時間を共に過ごすことで、仲良くなっていきお互いの楽しい!を広げられるようなキャンプになること間違いなし。寝る前には、「明日は、何があるんだろう?今日よりも楽しいかな?」とドキドキの期待を胸に、次の日の準備をして息つく間もないくらいの楽しい2泊3日を過ごすことが出来るジュニアスキーキャンプ。



2019年最後のキャンプ、たくさんの子どもたちと会えることを楽しみにしています!いろんなリーダーが、みんなのことを待ってるよ!初めての子も、これまでにスキーキャンプに来たことがある子もキャンプで会いましょう!!!

岩手大学人文3年 安恒史織(レモンリーダー)

～ダイナミックスキーキャンプ～

こんにちは!ダイナミックスキーキャンプのメインリーダーをさせていただきます岩手大学3年生の宮澤秋彦です。リーダー名は、シュリンプと言います。よろしくお願いします。

ダイナミックスキーキャンプは、2020年1月11日(土)～13日(祝)の2泊3日、安比高原好き場で行われるキャンプです。ダイナミックスキーキャンプは、ダイナミックなご飯(バイキング、蟹食べ放題)!ダイナミックなお風呂(広くてすごく綺麗)!ダイナミックな部屋!ダイナミックなスキー場!ダイナミックなスキーレッスン!ダイナミックなリーダー達!と、ダイナミックが沢山のキャンプです。楽しくなること間違いなし!キャンプに来て、素敵な友達、リーダー達と一緒に2020年もダイナミックにスタートしよう。

私自身、ダイナミックスキーキャンプに参加するのは初めてなので、どんなキャンプになるのか、どんな子ども達と出会えるのか、とてもワクワクしています。

不安な気持ちもありますが、参加してくれる子どもたちの最高に楽しい時間を過ごすことが出来るよう、リーダーたちでキャンプへ向けたくさん話し合い、メンバー一人一人が輝くことの出来るキャンプを作れるよう、準備していきます。

今私が抱えている不安も、きっとキャンプが近づくにつれてワクワク



へと変わっていくことでしょう。今まで出会ったことがある子も、初めて出会う子も、そしてリーダーと一緒にたくさんの楽しみをダイナミックスキーキャンプで味わってみませんか。2020年の冬もみんなと出会えることを楽しみにしています。

岩手大学3年 宮澤秋彦(シュリンプリーダー)



～日帰りスキー教室～

寒くて布団から出られない...そんな季節がやってきましたね。おむすびから、冬の寒さも吹き飛ばすアツアツな話題「日帰りスキー教室」についてお知らせをします!「日帰りスキー教室」は、1月19日(日)に、八幡平パノラマスキー場で幼児から小学生を対象に行われます。

キャンプとは違って泊まることはないの、誰でもより気軽に参加できます。スキーをやってみたくけれど、少し不安だなあって思っている子はいませんか?おむすびも初めてスキーをした時は不安だったからよくわかります。でも、そんな君でも大丈夫!「日帰りスキー教室」では、リーダーが一日中子どもたちといっしょにスキーをするから、安心して滑ることが出来ます。滑ることができた時の嬉しさは何倍にもなるでしょう。

ぜひリーダーといっしょに、初めてのスキーにチャレンジしてみよう!そして、スキーがもっと上手になりたいと思っている子はいませんか?

そんな君にもぴったり!「日帰りスキー教室」では、グループに分かれて一日中たっぷり練習ができます。この一日でリーダーたちと一緒にスキーのレベルアップに挑戦しよう!スキーをしたことがない子も、してみたいけどちょっと不安な子も、もっと上手になりたい子も、みんな大歓迎の「日帰りスキー教室」。きっとこの一日で、みんなはスキーがスキになるに違いない!リーダーたちと一緒にみんなでスキーをして、寒い冬に心も体も温まろう!たくさんの参加を待っています。



岩手大学2年 斎藤七穂(おむすびリーダー)

～10月～

『ダッチオープンを使って!!チャレンジ本格ピザ作り』

こんにちは!アグーです!私から、ちきゅうとあそぼう。10月野外活動クラブの「ダッチオープンを使って!!チャレンジ本格ピザ作り」の報告をさせていただきます。当日は、38名の子どもたちと21名のリーダー・スタッフが参加し、外山森林公園に向かいました。バスの中では、ピザに関するクイズやグループ対抗のゲームで盛り上がり、子どもたちとリーダーたちのワクワクも大きくなっていきました。

到着してまず行ったのは薪割り講習。リーダーが子どもたちへ薪割りの仕方を伝えました。



薪割りの時に注意することは何かを問いかけると、今までの野外活動やキャンプに参加した経験がある子どもたちが自信を持って答えてくれました。薪割り講習の後はいよいよピザ作り開始!グループごとに薪割りや火つけ、ピザのトッピングをしていきます。具材をうまく使って顔を作る見た目重視なグループや、とにかく具材をてんこ盛りにするボリューム重視なグループなど、トッピングにもそれぞれのグループの個性が溢れていました。また、煙と戦いながら火付けを一生懸命頑張る姿もたくさん見られました。ベテランの子ともなると、自分たちで火の大きさや薪の量を調節しており、とても頼もしく感じられました。

ピザが完成すると、炊事棟のあちこちから各グループの歓声が聞こえてきました。出来上がったピザを切り分けて、いざ実食!「うまっ!!」と声をあげる子もいれば、夢中で口いっぱい頬張る子もいて、みんなそれぞれの表現でピザの味を楽しんでいるのが伝わってきました。午後はフリータイムで、落ち葉で遊んだり赤い木の実を集めたりなど、思い思いに秋を満喫していました。

今回の活動でピザ作りを成し遂げた経験は、子ども達にとって大事な思い出の一つになったことと思います。そのような貴重な時間を共に過ごせたことに感謝しつつ、次の活動も楽しみにしています!



岩手大学3年
吉田莉那(アグーリーダー)

～11月～

『お馬さんのお世話体験をしよう!!』

こんにちは!先日母親に、「ビートルズみたいな髪型だね」と言われたシュリンプです。そんな私から、11月17日(日)に馬っこパーク・いわてで行われた、11月野外活動クラブ「馬のお世話体験をしよう!」の報告をさせていただきます。

今回の活動は、子ども21人、リーダー19人が参加しました。まず、電車で滝沢駅まで移動。電車に乗ると、すぐに電車好きの男の子達は、1番前の特等席にしがみつき、電車博士の子が1人。「あのランプは前の車両と近すぎるんだよ」と、持ち前の知識を披露していました。

馬っこパークに到着すると、さっそく馬小屋の掃除をしました。最初は、ボロ(馬糞)を嫌がり躊躇している女の子達もいましたが、同じグループの男の子が、勢い良くガツとスコップでボロをすくうと、女の子達も男の子の勢いにつられて、せっせと働いていました。子ども達にもお馬さんの為に、掃除している意識が生まれ、「もっと、おが屑を平らにしてあげると、馬も楽に過ごせるんじゃない?」という声も聞こえてきました。

お昼ご飯を食べて、施設の人に馬の特徴などを話していただいた後は、質問タイムになりました。そこでは、「馬の体重は?」「どれくらい食べるの?」など、沢山の質問が出て、子ども達が馬への興味を持っていていいることを感じました。乗馬体験で怖がって乗れない子も、勇気を出して餌のニンジンに馬にあげており、馬に食べて貰った時には、嬉しそうな表情が見られました。

今回の活動で、子ども達が馬などの動物への興味を持ち、思いやるきっかけになったのではないかと思います。今回も素敵な機会をいただき、ありがとうございました。

岩手大学3年 宮澤秋彦(シュリンプリーダー)



11月サンデースクール

みなさんこんにちは!つよぼんです!11月のサンデースクールは青山地区活動センターでキンボールを行い、こども14名、リーダー17名の31名での活動になりました。リーダー達の劇を混じえたルール説明で、楽しみながら大体のルールを把握し、準備体操も大きなかけ声でしっかり行いました。

キンボールを転がして円の中心にいるリーダーに当てるミニゲームをし、ボールの感触を確かめたいよいよ試合開始です!チームの中でサーブする順番を決め、作戦会議をするなど準備の時間でも子どもたちで話をする様子も見られました。試合が始まると、「オムニキン!!」の掛け声を大きな声でチームのみんなで叫び、サーブをする人が他のチームの色を叫ぶとその色のチームがボールを落とさないようボールに集まっていきました。子どもやリーダーの「○○色だって!」という声が響き渡り、1つのボールに向かってチーム全員が走って行く賑やかな姿が見られました。幼児から6年生までの色んな年齢の子どもがお互いに協力しながらゲームをしており、幼児がサーブをする時は敵チームも近くに寄っていたり、一人ひとりが周りのことを考えながらスポーツをしていました。

最後に4チーム総参加の試合を行い、運動公園へ移動してから表彰式を行いました。1位ではないチームにもそれぞれのチームのリーダーが考えた賞が与えられ、全員が最後まで笑顔で活動することが出来ました。

盛岡大学3年 千葉文彦(つよぼんリーダー)



「クリスマスプレゼント」

もうすぐクリスマスがやってくる。クリスマスはイエス・キリストの誕生を祝う日だが、子どもたちにとって最大の関心事はクリスマスプレゼントだろう。かつて僕も今自分になるとサンタさんからどんなおもちゃがもらえるかあれこれ想像してひとりニタニタしていたものだ。

子どもたちに人気のあるおもちゃにレゴがある。デンマークのレゴ社が製造するブロック玩具だ。レゴのブロックには以下の特徴がある。

- 1 分けられない
 - 2 大きさも形もまちまち
 - 3 頑丈である
 - 4 凹凸がある。その凹凸がくっつきあってありとあらゆる形がつくれる。そうやってつくったものはあとでバラバラにできる。そして新しいものをさっきと同じレゴを使ってつくることができる。
- ヨースタイン・ゴルデル「ソフィーの世界」より

分けることができなくて、形がバラバラ、頑丈なものだったら、川原に転がっている石だってそうだ。川原の石が大人気のおもちゃにならず、レゴがそうなれたのは何故か？

レゴをレゴたらしめたものは、4の互いにくっつきあって新しいものをつくるという特徴にある。

子どもたちも一人ひとりに大切な個性がある。それぞれの個性はお互いそれと変わるものではない。そうした個性を子どもたち自身が受容し、他者とつながることで新しい価値をつくっていく。これからは、「つながっていく力」が今まで以上に必要とされる時代になっていくに違いない。

「みつかる。つながる。よくなっていく。」そんな場を提供すること。それがYMCAから社会へ贈るプレゼントだ!!

「一つの部分が苦しめばすべての部分が共に苦しみ、一つ一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。」

(コリント信徒への手紙12章26節、27節)

盛岡YMCA 総主事 濱塚有史

※互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと

インドでビリケン・マックスが考えた⑦

夜行バスでチェンナイに向かい、チェンナイのセントボンファス・アンバハムに到着したのは早朝だった。早朝だったにも関わらず スレッシュさんの奥様は 私たちにチャイを振舞ってくれた!また、私が寝泊まりする場所も、きちんとした家で、ベッドやマットレスも用意されていた。ラスト1週間のインド生活にして 今までで一番豪華な滞在場所だった(笑)。チェンナイのセントボンファス・アンバハムでは65人の子どもたちが共同生活をしながら、学校に通っている。

チェンナイに到着したこの日は、日曜で学校がお休みだったので子どもたちと思いきり外で遊ぶことが出来た。トリッチーのセントボンファス・アンバハムより子どもの数が少なかったので深く関わることができたので、子どもたちのことをたくさん知れました。

子どもたちは勉強熱心で、夜になると唯一電気が通っている建物の周りに集まって教科書を覗き込む。将来の夢が学校の先生の子、お医者さんの子もいた。また、子どもたちはとても人懐っこくて、すぐに私たちの名前を覚えてくれたし、ハウスマザーの目を盗んで手を振ってくれたり、話しかけたりしてくれた。小さい子はまだ英語が得意ではなく、私たちと会話が出来ない時があったが、そういう時は年上の子が何も言わずとも通訳してくれた。みんな、背景に暗い事情を抱えていて、この施設がなかったら路上でボロボロの服を着て道行く人たちに「お金を下さい」とお願いするものの、無視をされる

ような存在になるかもしれない子どもたちです。しかし、それを感じさせない、心から優しく、元気な子どもたちでした。チェンナイでの日々は、日中は観光をし、夜に子どもたちと交流するというタイムスケジュールでした。車に乗って街に出かけて、観光をしても子どもたちのことを思い出して こんなに遊んでいて良いのかなと ふと考えてしまう瞬間が多々ありました。

だんだんと自分にできることってなんなんだ...?と考えるようになりました。

岩手大学4年 尾河芽生(ビリケンリーダー)



表紙の写真から



いよいよYMCAのスキーキャンプが始まります。写真は、4年前のジュニア・エンジョイススキーキャンプの様子。巻頭言を書ってくれた瀬川さんも写ってます。

最新情報はこちらでチェックできます!「盛岡YMCA」で検索ください。

ホームページ  : <https://www.moriokaymca.org/>

facebook  : <https://ja-jp.facebook.com/moriokaymca/>

感謝

(2019年11月29日現在敬称略)

●維持会員

伊藤真太郎、伊藤愛美、晴山浩輔、工藤悦子、今野健男、今野聖子、花田暁、戸貞文、鶴丹谷三千代、中島敬泰、家村知佳、押切梓、名古屋恒彦、名古屋理恵、増田隆川、坂保宏、伊藤信彦、大関靖二、南原良哉、伊藤真一郎、伊藤みどり、高瀬稔彦、田村治之、遠藤昌樹、尾張幸久、飯島隆輔、林良也、魚住恵、今松桂子、熊谷大樹、森山日菜乃、森山幹大、光永尚生、北田仁則、北田アユ子、東森聡、人見晃弘、尾形裕一郎、山口貴伸、井上修三、井上優子、井上浩太郎、長岡正彦、高橋友恵、水田賢次、澤田優美、平泉幸子、佐々木理香、藤原祐三、浅沼慧、浅沼美希、若井淳、及川茂夫、阿部深雪、上中優奈、植田二茂、松尾聡子、武田理恵子、佐藤洋一、菊地弘生、重石佳司、accomoon、熊谷映希、日語教会、滝川佐渡子、浅沼誠久、高橋奈葉、水野暢夫、濱塚秋二、濱塚れい子、濱塚有史、濱塚真美、佐藤翔、古澤伸、向平悟、ちひろ、小川嘉文、濱塚直樹、恭子、小川明博、廣川健太郎、厚子、はるな、野澤朋華、魚住英昭、尾張幸久、大久保里美、中村圭、菅原歩、武田悠、釜澤亮、齊藤優太、布引和生、ガイアリンク(株)、角谷晋次、神田橋恵、中原真澄、小林茂元

●寄附金

晴山浩輔、工藤悦子、今野健男、今野聖子、家村知佳、南原良哉、伊藤真一郎、伊藤みどり、田村治之、遠藤昌樹、尾張幸久、今松桂子、熊谷大樹、光永尚生、人見晃弘、及川茂夫、菊地弘生、日語教会、尾張幸久、ガイアリンク(株)、角谷晋次